町民の皆さまとの対話会 会議記録

開催日	令和6年11月30日	開催時間	13:00~14:30
会場	旧津南原小学校	参加人数	6人

No.	質問・意見要旨	回答要旨
1	町民に対しても職場内でもハラスメントについて相当な気を使っていると思うがどのように思うか。	職場内でハラスメントがないか職場アンケートを取りながら適宜改善を行い、風通しの良い組織づくりを進めています。 カスタマーハラスメントについて、対策を取らせていただくことも考えていなくてはならないと思います。
2	103万円の壁について、撤廃したほうが良い。若者が働きたい、パートが働きたいという環境を整えるのが一番良いと考える。働いたものは納税するのが正しい。どのように考えるか。	国政選挙の結果は民意であり、反映されていくことが望ましいと考えます。
3	町のハザードマップは更新されているか。 ハザードマップの作成に係る組織体制に疑問を覚える。地域の人たちが気づいたことをどのように反映できるか。住民の声を役場に伝えればいいのか、直接県に言わなければならないのか。住民の声を吸収してもらえればより災害を防ぐことができると思う。	ハザードマップは土砂災害や河川の浸水想定区域をもとにマップを作っているが、どこが危険かという部分は県で調査をしてエリアを示し、それをもとに町のハザードマップを作っています。定期的に更新しているわけではありません。地域で「この場所は危険だ」など持っている情報は役場にお話しいただき、県などへ情報共有していきます。
4	報道では、地方創生交付金が2倍になるという話があった。今までどれくらいの規模で何に使っているか。	2014年に始まり、クリアウォーター津南の工場の建設、ジオパーク整備、テレワーク施設整備等に使用したが、1/2を町費から捻出する必要があります。金銭的な支援だけでなく人的支援がないと地方創生の取り組みはできないので、国の政策が適切な方向にいくよう働きかけていきます。
5	安心して暮らしていくために、津南病院に病院としての機能がなくなるないようにしてほしい。主治医の機能を果たせる津南病院にしてほしい。	町としてどのように向き合っていくか、医療体制がどうあるべきか引き続き考えていきます。
6	柏崎刈羽原発の再稼働について不安を抱えている。もし何か起きた時の風評被害についてどう考えているか。	重要な問題であるはずですので、どのように進め、どのように対策していくのか、国や県の協議を待ちたいと思います。
7	津南病院の主治医の考え方について、かかりつけの医師がいたにもかかわらず、入院時等にたまたま見てもらった医師に主治医が変更されることがあった。柔軟に対応できないか。	病院の考え方もあるかもしれませんが確認させていただきます。
8	ふるさと納税のサイトは増やしたか。また、全体的に見て津南の返礼品は還元率が低いように思う。	サイトも増やし、寄付額も増えてきています。来春から中間事業者が変わることから、還元率についても検討していきます。
9	米が高くなっているという話が出ているが、決して高くない。肥料代や機械代がかかっており、米作り中心で農業をやっていくのは大変。米の現状をいろいろな機会に発信してほしい。	今年米価は上がったが、資機材や人件費の上昇で追いつかなくて厳しい状況は承知しています。農政の基本法の改正を機に農産物の適正価格を評価してもらえるよう法律を制定しようという流れで聞いており、ぜひ進めてもらいたいと考えています。町としても対策を考えていきます。
10	後継者不足により農業の継続が難しくなる中で、町としての具体的な方向性を教えてもらいたい。	現状、若い人が米作りに参入していくのは難しい状況です。津南町の農地の維持のためには、法人の再編、基盤整備を進め、規模を拡大することで対応できる面があると考えています。価格が低く輸出しても採算が取れるような米作りも必要と思います。継続可能な農業施策を進めていきます。
11	米生産の大規模化だけでなく、津南町産の米が魚沼産であることをアピールしていくべき。	ブランド力向上を目指していきます。
12	米生産の委託において、受託業者の条件にそぐわなければ受け入れてもらえない状況である。受託業者と委託業者の両者が持ちつ持たれつ関係でないと持続的な農業は成り立たない。	町としてできることを検討していきます。